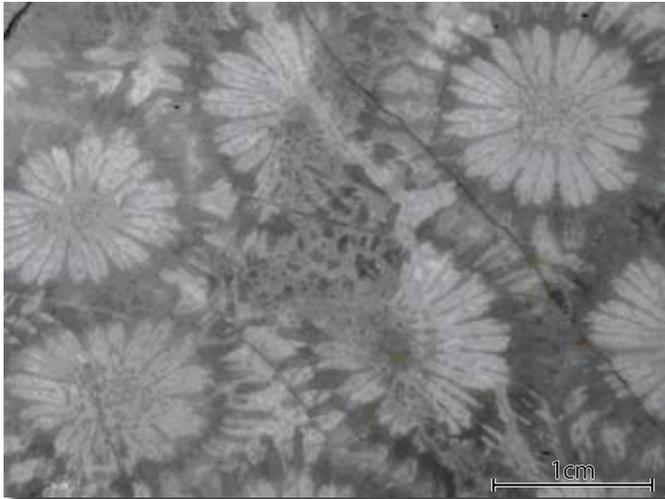
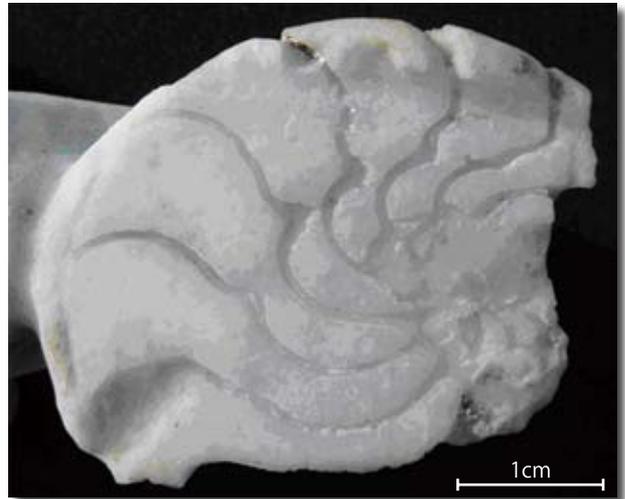


● 南の海にあった証拠 ●

丹沢の各地で、暖かい海にすむ貝やサンゴなどの化石を見つけることができます。これらは、丹沢が南の海からやってきた証拠です。



キクメイシ（サンゴの一種）の化石  
火山島がサンゴ礁に囲まれていた証拠。  
(山北町人遠産)



オウムガイ化石  
熱帯の深海にくらすオウムガイの化石。  
(山北町白石沢産)

● 関東大震災【 1923年（大正12年）9月1日 】 ●

関東大震災は、プレートの衝突により発生しました。丹沢山地は、震源に近かったため、多くの場所で斜面がくずれ落ち、ガレ場（崩壊地）がたくさんできました。その後、荒れ果てた姿になってしまった丹沢山地に森林を取り戻す取り組みが続けられ、少しずつ山は緑を回復していきました。

丹沢山地は、今でも少しずつフィリピン海プレートによって押し続けられています。



—昭和20年代後半の荒廃状況（大山山頂より）—  
(1945年)